



Title	ヘレロ語とスワヒリ語の限定を表すとりたて小辞に関する試論
Author(s)	米田, 信子
Citation	スワヒリ&アフリカ研究. 2017, 28, p. 72-90
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/66376
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

ヘレロ語とスワヒリ語の限定を表すとりたて小辞に関する試論¹⁾

米田 信子

0. はじめに

「とりたて」とは、「文中のある要素を際立たせ、それと対立する要素との関係を示す機能」(小柳 2010:93)である。日本語でたとえるなら、「も」を使った類似の表現、「さえ」を使った極端の表現、「だけ」や「しか」を使った限定の表現(野田 2015)などである。日本語のとりたて表現ではこのような助詞が用いられることが多いが、ヘレロ語やスワヒリ語²⁾では主に小辞を用いて表される。本稿ではこれを「とりたて小辞」と呼ぶことにする。とりたて小辞は、とりたてる要素(以下とりたて要素)に後続する形で現れる。

- (1) ヘレロ語: Mbá-randa oma-ihí porwé.
SM1SG-PST-買う³⁾ 6-ミルク EXCL
「私はミルクだけ買った。」
- (2) スワヒリ語: Ni-li-nunua ma-ziwa tu.
SM1SG-PST-買う 6-ミルク EXCL
「私はミルクだけ買った。」

¹⁾ 本研究は JSPS 科研費 JP16K02627「バントゥ諸語における従属節の形式と意味に関する比較研究」(研究代表者:大阪大学・米田信子)、JSPS 科研費 JP 16K02672「ニジェール・コンゴ語族における動詞構造の形態・統語論比較研究」(研究代表者:大阪大学・小森淳子)の助成を受けたものである。また国立国語研究所共同研究プロジェクト「対照言語学の観点から見た日本語の音声と文法(とりたて表現)」の成果のひとつでもある。

²⁾ ヘレロ語とスワヒリ語は、いずれもアフリカ大陸赤道以南に広く分布する「バントゥ諸語」と呼ばれる言語群に属する言語で、ヘレロ語は主にナミビア、スワヒリ語は東アフリカで話されている。

³⁾ 本稿で用いる略語は次のとおりである。COP=繫辞、EXCL=限定とりたて小辞、LOC=場所格、NEG=否定辞、OM=目的語接辞、PL=複数、POSS=属辞、PRF=完了、PRS=現在、PST=過去、RM=関係接辞、SG=単数、SM=主語接辞。1SG=1人称単数、1PL=1人称複数、3SG=3人称単数、3PL=3人称複数。バントゥ諸語の名詞は「名詞クラス」と呼ばれるグループに分かれている。名詞クラスとそれを基盤にした文法呼称のシステムはバントゥ諸語に共通する特徴であり、比較研究のために名詞クラスには一定の順番でクラス番号がつけられている。本稿でもその番号を用いて名詞のクラスを表す。名詞のグロスに付けた数字はその名詞が属している名詞クラス、名詞以外のグロスに付けた数字はその語や接辞が一致している名詞のクラスをそれぞれ表す。なお、固有名詞で表した人物は1クラスの扱いとなる。形態素境界はハイフンで示すが、形態素に分けることができない(もしくはあえて分けていない)場合はピリオドで示す。

(1)のヘレロ語 *porwé* と(2)のスワヒリ語 *tu* は、いずれも日本語で「だけ」と訳せるような「限定」を表すとりたて小辞である（グロスでは EXCL）。ヘレロ語とスワヒリ語において限定のとりたて表現に用いられる小辞には表 1 に示すようなものがある。

表 1：ヘレロ語とスワヒリ語における限定のとりたて小辞

ヘレロ語		スワヒリ語	
小辞	意味	小辞	意味
<i>porwé</i>	exclusively, just	<i>tu</i>	alone, only, just
<i>úrirí</i>	only, just	<i>peke yake (yao)</i>	single, alone, lonely
<i>eríke</i>	alone	<i>pekee</i>	unique, sole, lone

「意味」として記入しているのは、それぞれの辞書⁴⁾に書かれている英語の対訳である。これを見ると、各小辞の意味は、大まかな区別はあるものの重なりもかなりある。またヘレロ語の *eríke* とスワヒリ語の *peke yake* は、辞書や教科書では「単独の・ひとりで」といった意味を表す修飾語として扱われるのが一般的であり、とりたて小辞としての機能はほとんど説明されていない。しかしながら、実際にはこれらも表 1 に示した他のとりたて小辞と同様に、限定のとりたて小辞として用いられる。これらのとりたて小辞を用いてとりたてをするとき、必ずしも表 1 に示したような意味の区別があるわけではなく、意味の違いがなくなったりあいまいになる場合も少なくない。そこで本稿では、表 1 に示したヘレロ語とスワヒリ語の限定のとりたて小辞が実際にどのように用いられているのかを概観する。それぞれのとりたて小辞の用いられ方や機能の違いについての分析はまだ十分ではないが、今後それらを明らかにしていく研究に発展させることを目指しつつ、その最初の段階として、現時点で分かっている類似点や相違点を考察する。

1. とりたて小辞の形式

表 1 で示したヘレロ語とスワヒリ語の形式のうち、ヘレロ語の *porwé* と *úrirí*、スワヒリ語の *tu* と *pekee* は、とりたて要素に関わらず常に同じ形で現れる。一方、ヘレロ語の *eríke* とスワヒリ語の *peke yake* は、とりたて要素によって現れる形が異なっている。

⁴⁾ ヘレロ語：Nguaiko (ed.) 2011, Viljoen & K. Kamupingene. 1983.、
スワヒリ語：Mohamed, Mohamed A. 2011.

ヘレロ語の名詞は「名詞クラス」と呼ばれるグループに分かれており（脚注 3 参照）、*eríke* は、とりたて要素が属している名詞クラスに一致した形の接頭辞を伴って現れる。

- (3) a. e-mbo arí-eríke 「本だけ」
 5-本 5-EXCL
 b. ova-nátje avé-eríke 「子どもたちだけ」
 2-子ども 2-EXCL

スワヒリ語の名詞も名詞クラスに分かれているが、*peke yake* は、とりたて要素の名詞クラスでなく、人称と単複の違いによって現れ方が異なっている。

- (4) a. m-toto peke yake 「子どもだけ」
 1-子ども EXCL SG/3SG
 b. wa-toto peke yao 「子どもたちだけ」
 2-子どもたち EXCL PL/3PL
 c. mimi peke yangu 「私だけ」
 1SG EXCL 1SG
 d. sisi peke yetu 「私たちだけ」
 1PL EXCL 1PL

2. ヘレロ語の限定とりたて小辞の現れ方

この節では、ヘレロ語の限定とりたて小辞がどのように現れ、どのように使い分けられているのかを、とりたて要素別にみていく。

2.1. 目的語

- (5) Ami mbá-yandjá María e-mbo **porwé/ arí-eríke/ úrirí**.
 私 SM1SG.PST-与える マリア 5-本 EXCL/ 5-EXCL/ EXCL
 「私はマリアに本だけあげた。」
- (6) María wá-zikí oví-hápe **porwé/ aví-eríke/ úrirí**.
 マリア SM1-料理する 8-野菜 EXCL/ 8-EXCL/ EXCL
 「マリアは野菜だけ料理した。」

とりたて要素が動詞の目的語の場合には3つの形式をいずれも同じように用いることができる。ところが二重目的語構文になると違いが出てくる。

- (7) Ami mbá-yandjá María **porwé/ ??e-eríke/ *úrirí** e-mbo.
 1SG SM1SG.PST-与える マリア EXCL/ 1-EXCL/ EXCL 5-本

「私はマリアにだけ本をあげた。」

- (8) Ami mbá-yandjá María e-mbo **porwé/ arí-eríke/ úrirí.**
 1SG SM1SG.PST-与える マリア 5-本 EXCL/ 5-EXCL/ EXCL

「私はマリアに本だけあげた。」

ヘレロ語の二重目的語構文では有生名詞（あるいは受け手）が第一目的語として動詞直後に置かれる。したがって、「マリア」を動詞直後に置いた(7)、(8)のような語順になるが、(7)が示すように「マリア」に後続させて「マリア」をとりたてることができるのは *porwé* だけである。*úrirí* を用いると非文、*eríke* は非文ではないがかなり不自然な文になる。一方、「本」の直後に続けて「本」をとりたてる場合は3つとも用いることができる。

「本」を動詞直後に置いた場合には、(9)のように「マリア」には方向を表す接頭辞がつき、二重目的語構文ではなくなる。この場合には、*porwé* だけでなく *eríke* を用いても「マリア」をとりたてることができる。ところが *úrirí* の場合は、(9b)が示すように、とりたてられるのは直前にある「マリア」ではなく、「本」のほうになってしまう。

- (9) a. Ami mbá-yandjá é-mbo okú-María **porwé/ e-eríke.**
 私 SM1SG.PST-与える 5-本 LOC-マリア EXCL/ 1-EXCL

「私はマリアにだけ本をあげた。」

- b. #Ami mbá-yandjá é-mbo okú-María **úrirí.**
 私 SM1SG.PST-与える 5-本 LOC-マリア EXCL

「私はマリアに本だけあげた。」

2.2. 主語

ヘレロ語では、主語に限定のとりたて小辞を続ける場合は「～したのは・・・だけだ」という分裂文を用いる。通常の単文では主語の後ろにとりたて小辞を置くことはできない。

- (10) a. *Ozo-mítirí **porwé/ azé-eríke/ úrirí** zá-pundire.
 10-先生たち EXCL/ 10-EXCL/ EXCL SM10.PST-踊る
 (先生たちだけが踊った。)
- b. Ózó-mítirí **porwé/ azé-eríke/ úrirí** ondá-pundire.
 COP⁵.10-先生たち EXCL/ 10-EXCL/ EXCL RM10.SM10.PST-踊る
 「踊ったのは先生たちだけだ。」
- (11) a. *Ami **porwé/ eríke/ úrirí** mbí-tjíwa oku-ziká o-nyama
 1SG EXCL/ 1SG.EXCL/ EXCL SM1SG-知る INF-料理する 9-肉
 「私だけが肉の料理の仕方を知っている。」
- b. Oámi **porwé/ eríke/ úrirí** ngú-mbí-tjíwa oku-ziká o-nyama.
 COP.1SG EXCL/1SG.EXCL/ EXCL RM1SG-SM1SG-知る INF-料理する 9-肉
 「肉の料理の仕方を知っているのは私だけだ。」

上記の例が示すように、限定のとりたて表現は単文の主語には続けることができないが、以下のような例外もある。

- (12) Káko, María **úrirí** má-ríhóngo.
 いいえ マリア EXCL PRG. SM1-勉強する
 「いいえ、マリアだけは勉強しています。」

これは、たとえばある人が「誰も勉強していないではないか！」と言ったのに対して、「いや、マリアだけは勉強しているよ」といった対比の意味が含まれている場合である。分裂文にすることなく限定のとりたて表現を主語に後続させることができるのは、このような対比の場合に限られる。ただし、この場合でも、用いることができるとりたて小辞は *úrirí* だけである。

⁵ ヘレロ語ではコピュラはトーンによってあらわされる。基本形は *ozomítirí* (LLHH) 「先生」であるのに対し、*ózó-mítirí* (HHHLH) になるとコピュラ (it's teachers) の意味になる。

2.3. 動詞

動詞のとりたてに用いられる最も自然なとりたて小辞は *úriri* である。 *porwé* は、動詞のとりたてに用いることができる場合もあるが、(14)、(15)のように非文や容認度の低い文になることも少なくない⁶⁾。 *erike* は、名詞クラスに一致した接頭辞を伴って現れることからわかるように、名詞をとりたてることしかできない。動詞の直後に *erike* が続く場合は、主語名詞に一致した形で現れ、「ひとりで／単独で」という意味の修飾語になる。

(13) a. Ewe má-zíki **úriri/ porwé.**

3SG PRG.SM3SG-料理する EXCL/ EXCL

「彼女は料理しているだけだ。」

b. #Ewe má-zíki **é-erike.**

3SG PRG.SM3SG-料理する 3SG-EXCL

「彼女はひとりで料理している。」

(14) a. María má-ríhongo **úriri/ ??porwé.**

マリア PRG.SM1-勉強する EXCL/EXCL

「マリアは勉強しているだけだ。」

b. #María má-ríhongó **é-erike.**

マリア PRG.SM1-勉強する 1-EXCL

「マリアはひとりで勉強している。」

(15) (「勉強しているの?」とたずねられて)

Káko, má-tú-sérékáréré **úriri/ *porwé .**

いいえ PRG-SM1PL-しゃべる EXCL/1PL.EXCL/EXCL

「いいえ、私たちはおしゃべりしているだけです。」

(16) Owo ká-vá-zíkire **úriri/ porwé,** vá-kóhére nóho.

3PL NEG-SM3PL.PST-料理する EXCL/EXCL SM3PL.PST-洗濯する も

「彼らは料理しただけでなく、洗濯もした。」

次に示すのは動詞の後ろに目的語が続く例である。「動詞+目的語」の後ろには、*úriri*

⁶⁾ この差が何によるのかは、現時点では明らかになっていないが、後述する *porwé* と *úriri* の違いが関係しているかもしれない (2.5 参照)。

だけでなく *porwé* と *eríke* を続けることもできる。ただし、とりたてることのできる要素は小辞によって異なっている。

(17) a. Ami mbi-ryá oví-hápe **úrírí/ porwé.**

1SG SM1SG-食べる 8-果物 EXCL/EXCL

「私は果物を食べることだけする。」

「私は果物だけ食べる。」

b. Ami mbi-ryá oví-hápe **avé-eríke.**

1SG SM1SG-食べる 8-果物 8-EXCL

「私は果物だけ食べる。」

(18) a. Owo ka-vé-nokú-résa o-mbapíra **úrírí/ ??porwé,** (posia) owo

3PL NEG-SM3PL-NEG-読む 9-手紙 EXCL/EXCL でも 3PL

má-ve-tjanga nóho.

PRG-SM3PL-書く も

「彼らは手紙を読んでいるだけではない、書きもしている。」

cf. b. Owo ka-vé-nokú-résa o-mbapíra **porwé,** e-mbo nóho.

3PL NEG-SM3PL-NEG-読む 9-手紙 EXCL 5-本 も

「彼らは手紙だけでなく本も読んでいる。」

(17)が示すように、*úrírí* と *porwé* は、動詞+目的語をとりたてることも目的語だけをとりたてることも可能であるが、*eríke* は目的語をとりたてることしかできない。また(18)が示すように、目的語がある場合でも *úrírí* は動詞だけをとりたてることが可能だが、*porwé* は目的語がある場合に動詞だけをとりたてることは難しい。

2.4. 名詞句

名詞句にとりたて小辞が後続した場合、名詞句全体だけでなく、主名詞あるいは修飾部だけをとりたてることもできる。

(19) Ami mbi-vangá omú-téna wá María **porwé/ e-eríke/ úrírí,**

1SG SM1SG-好き 3-兄 POSS マリア EXCL/ 1-EXCL/ EXCL

(kamú-téna wa Joni).

NEG.3-兄 POSS ジョン

「私は（ジョンのお兄さんではなく）マリアのお兄さんだけ好きだ。」

(20) Ami mbi-vangá omú-téna wá María **porwé / e-eríke / úrirí**,

1SG SM1SG-好き 3-兄 POSS マリア EXCL/1-EXCL/ EXCL

(hí-vánga tatée we).

NEG.1SG-好き 父 彼女の

「私は（彼女のお父さんではなく）マリアのお兄さんだけ好きだ。」

時や場所を表す名詞句には、いずれのとりたて小辞を続けることも可能である。

(21) Mbi-ungur-a orí-tjatátú **porwe/ arí-eríke / úrirí**.

SM1SG-働く 11-水曜日 EXCL/ 11-EXCL/ EXCL

「私は水曜日だけ働く。」

(22) Ami mbe-ríhongéra pónganda **porwé/ apé-eríke / úrirí**.

1SG SM1SG-勉強する LOC16.家 EXCL/ 16-EXCL/ EXCL

「私は家だけで勉強した（家で勉強しただけで学校には行っていない）。」

(23) Owo vái kókahandja **porwé/ akú-eríke / úrirí**.

3 PL SM3PL.PST-行く LOC17.オカハンジャ EXCL/17-EXCL/ EXCL

「彼らはオカハンジャだけに行った。」

2.5. ヘレロ語の限定を表すとりたて小辞のまとめ

ヘレロ語の限定のとりたてに用いられる 3 種類のとりたて小辞について、ここまで見てきたことは以下のようにまとめられる。

- 主語をとりたてる場合は、分裂文にしなければならず、単文のままでとりたて小辞を主語と共起させることはできない。ただし対比の文脈がある場合に限り、*úrirí*だけは単文のままで主語をとりたてることができる。
- 目的語や場所や時を表す名詞、すなわち主語以外の名詞をとりたてる場合は、3 つのとりたて小辞のいずれを用いることも可能である。

- 動詞をとりたてる場合は、動詞の直後に *úrirí* が続くのが最も自然である。*porwé* は動詞の直後に置くことができる場合とできない場合がある。*eríke* は、動詞の直後に置かれた場合は、「ひとりで／単独で」といった意味になり、とりたて小辞としては機能しない。
- 動詞＋目的語の直後には3つのとりたて小辞いずれも続けることができるが、それぞれがとりたてる要素が異なっている。
 - *úrirí* : 動詞＋目的語、動詞のみ、目的語のみ。いずれも可能。
 - *porwé* : 動詞＋目的語、目的語のみ。動詞のみをとりたてることは難しい。
 - *eríke* : 目的語のみ。

*úrirí*の現れ方を見ると、動詞＋名詞の直後にあっても動詞だけをとりたてることができたり、二重目的語構文において必ずしも *úrirí* の直前の要素がとりたて要素にならないことなどから、動詞あるいは動詞句をとりたてる副詞的な傾向があるように思われる。*porwé* は、名詞以外をとりたてることもできるが、その場合でも *úrirí* ほど自然ではないことが多い。*eríke* は、とりたて小辞として用いられる場合はとりたて要素は名詞に限られる。

さて、*úrirí* と *porwé* のあいだには、動詞のみをとりたてる場合の容認度に差があるだけでなく、両方が使える場合には意味に微妙な違いがあるらしい。コンサルタントによると、たとえば次のような例文の場合、*porwé* を使うと厳密に「本」しかあげていないのに対して、*úrirí* を使った場合には「本だけ」というよりも「本程度のもの」というニュアンスが含まれてくるという。つまり *úrirí* には、厳密な限定よりも程度の限定や評価といった意味合いが含まれているようである。

(24) Ami mbá-yandj-á María e-mbo **porwé / úrirí**. (5)の再掲

1SG SM1SG.PST-与える マリア 5-本 EXCL/ EXCL

「私はマリアに本だけあげた。」

この点についてはさらなる調査が必要であるが、*úrirí* が対比の場合に主語のとりたてが可能なことや、*porwé* を用いた動詞のとりたての容認度の違いは、このあたりのことが関係している可能性も考えられる。

3. スワヒリ語の限定とりたて小辞の現れ方

この節では、スワヒリ語の限定とりたて小辞がどのように現れ、どのように使い分けられているのかを、とりたて要素別にみていく。

3.1. 目的語

(25) a. Maria a-li-nunua nguo **tu/ pekee**.

マリア SM1-PST-買う 9.服 EXCL/ EXCL

「マリアは服だけ買った。」

b. #Maria a-li-nunua nguo **peke yake**.

マリア SM1-PST-買う 9.服 EXCL SG

「マリアはひとりで服を買った。」

tu と *pekee* は直前の目的語名詞をとりたてるが、*peke yake* は直前の目的語名詞ではなく、主語名詞を受けて、「ひとりで・～だけで」の解釈になる。(26)のように目的語を複数形にして、それに一致させた形 *peke yao* を続けても、例えばマリアが誰かと一緒にいるといった解釈になり、目的語をとりたてた「靴だけ」の意味にはなりにくい。

ただし *peke yake* が目的語のとりたてにまったく用いられないというわけではなく、(27)のように「他には何も買わなかった」といった内容を続ければ、容認度は低いですが、目的語をとりたてることも可能である。これについては、3.3でも触れる。

(26) Maria a-li-nunua vi-atu **peke yao**.

マリア SM1-PST-買う 8-靴 PL EXCL PL

「マリアたちだけ靴を買った。」

(27) ?Ni-li-nunua nguo **peke yake**, si-ku-ongeza ki-tu

SM1SG-PST-買う 9.服 EXCL SG NEG.SM1SG-NEG.PST-加える 7-物

ki-ngine.

7-別の

「私は服だけ買った。別のものは追加しなかった。」

3.2. 主語

スワヒリ語では、ヘレロ語の場合と違って分裂文にすることなく単文のままで主語をとりたてることができる。ただし使えるとりたて小辞には制限がある。

主語をとりたてる場合に最も自然なとりたて小辞は *peke yake* である。*pekee* は、容認度が下がる場合がある⁷⁾。*tu* は、非文ではないが、かなり容認度は低い。主語のとりたてに *tu* を用いる場合は、(29)のような分裂文にしなければならない。

- (28) Maria ??**tu/ peke yake/ pekee** a-li-nunua nguo.
マリア EXCL/EXCL SG/EXCL SM1-PST 買う 9.服
「マリアだけが服を買った。」
- (29) Ni Maria **tu/ peke yake/ pekee** a-li-(ye-)nunua nguo.
COP マリア EXCL/EXCL SG/EXCL SM1-PST(REL1)-買う 9.服
「服を買ったのはマリアだけだ。」
- (30) Maria **peke yake/ pekee** a-li-pendeza.
マリア EXCL SG /EXCL SM1-PST 魅力的である
「マリアだけが魅力的だ。」
- (31) Maria ??**tu/ peke yake/ ?pekee** a-li-angalia vi-tabu.
マリア EXCL/ EXCL/ EXCL SM1-PST 見る 8-本
「マリアだけが本を見て回った。」

3.3. 動詞

動詞をとりたてる場合に最も自然なのは *tu* である。*pekee* を用いることができる場合もあるが、その場合でも *tu* のほうが好まれる。*peke yake* は動詞をとりたてることはできない。(32)のように *peke yake* が主語と一致している場合には非文にはならないが、この場合は動詞をとりたてるのではなく、主語と一致して「ひとりで」という意味に解釈される。つまり、とりたて小辞としては機能していない。(33)では、*peke yake* が主語（一人称単数）に一致していないことからこの解釈もできないため、非文になってしまう。

⁷⁾ この差が何によるのかは、現時点では明らかになっていない。

(32) A-li-angalia **peke yake**.

SM1-PST-見る EXCL SG

「彼はひとりで見た。」

(33) Ni-li-angalia **tu/*peke yake/?pekee**. Si-ku-nunua.

SM1SG-PST-見る EXCL/EXCL SG/EXCL NEG.SM1SG-NEG.PST-買う

「私は見たただけだ。買わなかった。」

動詞+目的語の後ろに *tu* が続いた場合、(34)が示すように、動詞+目的語をとりたてることも、動詞だけあるいは目的語だけをとりたてることも可能である。*pekee* の場合には、目的語だけをとりたてる解釈になるが、文脈を作れば動詞+目的語をとりたてることも可能である。ただし *tu* に比べると容認度は下がる。文脈を作っても動詞だけのとりたてにはならない。

(34) a. Maria a-li-nunua nguo **tu/ *pekee**. Ha-ku-shona.

マリア SM1-PST-買う 9.服 EXCL/ EXCL NEG.SM1-NEG.PST-縫う

「マリアは服を買ただけだ。それを縫ったわけではない。」

b. Maria a-li-nunua nguo **tu/ pekee**. Ha-ku-nunua ki-tu

マリア SM1-PST-買う 9.服 EXCL/EXCL NEG.SM1-NEG.PST-買う 7-もの

7-別の

ki-ngine.

「マリアは服だけ買った。別のものは買わなかった。」

c. Maria a-li-nunua nguo **tu/ ?pekee**. Ha-ku-fanya ki-tu

マリア SM1-PST-買う 9.服 EXCL/ EXCL NEG.SM1-NEG.PST-する 7-もの

ki-ngine.

7-別の

「マリアは服を買ただけだ。別のことはしなかった。」

一方 *peke yake* は、「他の物は買わなかった」のような文を続ければ、かなり容認度は低いですが、目的語をとりたてることも可能である。ただし、主語と一致している限り、動詞の直後に置かれた場合と同じく、「ひとりで」の意味で解釈されるほうが一般的である。

(35) a. Maria a-li-nunua nguo **peke yake**.

マリア SM1-PST-買う 9.服 EXCL SG

「マリアはひとりで服を買った。」

?? 「マリアは服だけ買った (他のものは買わなかった)。」

* 「マリアは服を買っただけだ (縫ったわけではない)。」

b. Maria a-li-nunua nguo **peke yake**. Ha-ku-nunua ki-tu

マリア SM1-PST-買う 9.服 EXCL SG NEG.SM1-NEG.PST-買う 7-もの

ki-ngine.

7-別の

「マリアはひとりで服を買った。別のものは買わなかった。」

? 「マリアは服だけ買った。別のものは買わなかった。」

c. Maria a-li-nunua nguo **peke yake**. Ha-ku-fanya ki-tu

マリア SM1-PST-買う 9.服 EXCL SG NEG.SM1-NEG.PST-する 7-もの

ki-ngine.

7-別の

「マリアはひとりで服を買った。別のことはしなかった。」

?? 「マリアは服だけ買った。別のことはしなかった。」

* 「マリアは服を買っただけだ。別のことはしなかった。」

ところが *tu* と一緒に *peke yake* を用いると、容認度は高くなる。

(36) a. Ni-na-soma barua **peke yake tu**.

SM1SG-PRS-読む 9.手紙 EXCL SG EXCL

b. Ni-na-soma barua **tu peke yake**.

SM1SG-PRS-読む 9.手紙 EXCL EXCL SG

「私は手紙だけを読んでいる」

「私は手紙を読んでいるだけだ。」

(36)のように *peke yake* と *tu* のは同時に使うことができる。語順はどちらが前になっても

意味に違いはない。(35b)が示すように目的語のとりたてに *peke yake* を用いるのはあまり自然ではないが、(36)のように *tu* と一緒に用いることで容認度は高くなる。それだけでなく、動詞+目的語をとりたてることも可能になる。ただし、文脈を作っても *tu* と共起させても、*peke yake* を用いて動詞+目的語もしくは動詞のみをとりたてることはできない。

また *tu* は、異なる場所に現れながら同じ要素をとりたてることのできる場合がある。

(37) a. Maria a-li-angalia vi-tabu **tu**. Ha-ku-fanya ki-tu
 マリア SM1-PST見る 8-本 EXCL NEG.SM1-NEG.PSTする 7-こと
 ki-ngine.
 7-別の

b. Maria a-li-angalia **tu** vi-tabu. Ha-ku-fanya ki-tu
 マリア SM1-PST見る EXCL 8-本 NEG.SM1-NEG.PSTする 7-こと
 ki-ngine.
 7-別の

「マリアは本を見て回っただけだ。別のことはしなかった。」

(38) a. Maria a-li-angalia **tu** vi-tabu. Ha-ku-angalia ki-tu
 マリア SM1-PST見る EXCL 8-本 NEG.SM1-NEG.PST見る 7-もの
 ki-ngine.
 7-別の

b. Maria a-li-angalia vi-tabu **tu**. Ha-ku-angalia ki-tu
 マリア SM1-PST見る 8-本 EXCL NEG.SM1-NEG.PST見る 7-もの
 ki-ngine.
 7-別の

「マリアは本だけ見て回った。他のものは見なかった。」

(39) a. ?Maria a-li-angalia vi-tabu **tu**. Ha-ku-nunua.
 マリア SM1-PST見る 8-本 EXCL NEG.SM1-NEG.PST買う

b. Maria a-li-angalia **tu** vi-tabu. Ha-ku-nunua.
 マリア SM1-PST見る EXCL 8-本 NEG.SM1-NEG.PST買う
 「マリアは本を見て回っただけだ。買わなかった。」

1節で、とりたて小辞は基本的にとりたて要素の後ろに置かれると述べたが、*tu*はとりたて要素の前に置かれることもある。*tu*は、目的語の前に置いても後ろに置いても、文脈を作りさえすれば、動詞+目的語でも目的語のみでもとりたてることもできる。ただし動詞のみをとりたてる場合は、*tu*を目的語の前に置いたほうが容認度が高い。

3.4. 修飾語、その他

名詞句の後ろにとりたて小辞が続く場合には、いずれのとりたて小辞を用いても、名詞句全体、修飾部あるいは主名詞だけのとりたてが可能である。ただしいずれの場合も *peke yake* や *tu* に比べると *pekee* は少し不自然だということである。

(40) a. Ni-na-m-penda mama yake Maria **tu/ peke yake/ ?pekee,**
 SM1SG-PRS-OM1-好き 1.母 彼女の マリア EXCL/ EXCL SG/ EXCL
 (si wa-tu wa-ingine).

NEG.COP 2-人々 2-別の

「私はマリアのお母さんだけが好きだ (他の人は好きではない)。」

b. Ni-na-m-penda mama yake Maria **tu/ peke yake/ ?pekee,**
 SM1SG-PRS-OM1-好き 1.母 彼女の マリア EXCL/ EXCL.SG/ EXCL
 (si baba yake).

NEG.COP 1.父 彼女の

「私はマリアのお母さんだけが好きだ (彼女のお父さんは好きではない)。」

c. Ni-na-m-penda mama yake Maria **tu/ peke yake/ ?pekee,**
 SM1SG-PRS-OM1-好き 1.母 彼女の マリア EXCL/ EXCL.SG/ EXCL
 (si yake Juma).

NEG.COP 彼の ジュマ

「私はマリアのお母さんだけが好きだ (ジュマのは好きではない)。」

時を表す名詞をとりたてる場合は *tu* を用いるのが最も自然である。*pekee* も使えるが、*tu* のほうが好まれるようである⁸⁾。*peke yake* を用いる場合はさらに不自然になる。ただ

⁸⁾ *pekee* を使って自然な場合と不自然な場合の違いも、現時点では明らかになっていない。

し、(42)のように *peke yake* と *pekee* が使える場合もある。

(41) Ni-li-kwenda jana tu/ ??peke yake/ ?pekee.

SM1SG-PST-行く 昨日 EXCL/ EXCL.SG/ EXCL

「私は昨日だけ行きました。」

(42) Ni-na-kwenda kanisa-ni Jumapili tu/ peke yake/ pekee.

SM1SG-PST-行く 教会-LOC 日曜日 EXCL/ EXCL.SG/ EXCL

「私は日曜日だけ教会に行く。」

コンサルタントによると(41)と(42)との差は、*tu* を用いた限定とそれ以外を用いた限定との「厳密さ」の違いによるものであるらしい。*tu* 使った場合は、厳密にその日（たとえば(41)であれば「昨日」）だけということではなく他の日にも行った可能性が残っているのに対し、*pekee* を用いてとりたてる場合は、その日以外はまったく排除されてしまうという。*peke yake* は *pekee* ほどではないにしても、やはりかなり厳密に他を排除するイメージがあるらしい。つまり、*peke yake* や *pekee* を用いて限定のとりたてをするためには、それ以外のものをまったく排除しても不自然でない状況が必要なのである。(42)の「教会」であれば「日曜日」以外がまったく排除されても不自然でないために、(42)では *peke yake* や *pekee* を用いることも可能だという説明であった。つまり、スワヒリ語の *tu* と *pekee* のあいだには、ヘレロ語の *úrirí* と *porwé* のあいだに見られたような、限定の「厳密さ」の違いがあるということになる。これについては、最後にもう一度触れることにするが、さらなる調査が必要である。

場所を表す名詞をとりたてる場合にも *tu* を用いるのが最も自然であるが、*pekee* を用いることも可能である。その場合は時を表す名詞のとりたてと同様に、*tu* よりも *pekee* を用いたとりたてのほうが厳密に他を排除する限定となるらしい。場所のとりたての場合に *peke yake* を用いるのは、非文ではないにしても、かなり容認度は低い。

(43) Ni-li-jifunza nyumba-ni tu/ ??peke yake/ ?pekee.

SM1SG-PST-勉強する 9.家-LOC EXCL/ EXCL.SG/ EXCL

「私は家でだけ勉強した（＝学校には行っていない）」

3.5. スワヒリ語のまとめ

スワヒリ語の限定のとりたてに用いられる3種類のとりたて小辞について、ここまで見てきたことは以下のようにまとめられる。

- 主語をとりたてる場合は、*peke yake* と *pekee* が用いられるが、*peke yake* が最も自然である。これら2つのとりたて小辞を使えば、通常の語順の単文のまま主語をとりたてることができるが、*tu* を用いる場合には分裂文にしなければ不自然である。
- 主語以外の名詞をとりたてる場合は、*peke yake* 以外のとりたて小辞を用いるのが一般的である。*peke yake* は主語に後続して主語をとりたてることはできるが、目的語に *peke yake* が後続する場合は、文脈を作らないかぎり、目的語のとりたてとしての解釈は難しく、主語と一致して「ひとりで」の意味に解釈されるほうが一般的である。また *peke yake* は動詞（句）をとりたてることはできない。ただし、*tu* を共起させれば、*peke yake* を使って目的語や動詞+目的語もとりたてることができる。
- *pekee* は、主語名詞も主語以外の名詞もとりたてることが可能である。また動詞をとりたてることも動詞+目的語をとりたてることもできる。ただし、いずれの場合も容認度が低い場合がある。

これを見ると、*tu* と *peke yake* に関しては、それぞれに「得意」とするとりたて要素があり、ある程度相補分布的に用いられているように思われる。それに対して *pekee* は、とりたてることのできる要素を常に *tu* と *peke yake* のどちらか（あるいは両方）と共有している。*pekee* だけ使えないというケースがない反面、*pekee* しか使えない、あるいは *pekee* が最も自然というケースは今のところ見つかっていない。今回の調査では *pekee* に関するデータが不十分であり、まだ何かを明言する段階にはないが、本稿で取り上げたデータを見る限り、*pekee* は、主語のとりたてでも自然な場合と不自然な場合があり、動詞のとりたてでも自然な場合と不自然な場合がある。つまり *pekee* を使ったとりたて表現の容認度の差は、品詞や文法関係ではなく、それ以外の要因（たとえば限定の厳密さが適しているかなど）が関係しているようである。この点について今後しっかり調べてみる必要がある。

4. ヘレロ語とスワヒリ語の限定とりたて小辞の比較

ヘレロ語とスワヒリ語において限定の表現に用いられる各とりたて小辞がとりたてるこ

とのできる要素をまとめたのが表2である。

表2：限定のとりたて小辞を用いてとりたてることのできる要素

	へレロ語			スワヒリ語		
	<i>porwé</i>	<i>úrirí</i>	<i>eríke</i>	<i>tu</i>	<i>peke yake</i>	<i>pekee</i>
主語名詞	×	対比のみ	×	??	◎	○
動詞	△	○	×	○	×	△
動詞+目的語	○	○	×	○	×	△
動詞+目的語	??	○	×	○	×	×
動詞+目的語	○	○	○	○	△	○
名詞+修飾語	○	○	○	○	○	△
名詞+修飾語	○	○	○	○	○	△
名詞+修飾語	○	○	○	○	○	△
場所・時名詞	○	○	○	○	??	△

◎、○、△はとりたてることのできる要素。特に好まれる形式がある場合は◎で示す。また「間違いではないが他の小辞のほうが自然」という場合は△、特に差がない場合は○で示す。??は非文ではないがかなり不自然、×は非文もしくはとりたてとして機能しないことを示す。

既述のとおり、へレロ語の *eríke* とスワヒリ語の *peke yake* は、どちらも主に「ひとりで」という表現として扱われており、これらのとりたて小辞としての機能はほとんど紹介されていない。しかしながらここまで見てきたように、どちらも名詞をとりたてる小辞として頻繁に用いられている。表2を見ると、へレロ語の *úrirí* と *porwé* は、とりたてることのできる要素が重なっているが、これについては2.5で述べたように意味の違いがあるらしい。*úrirí* が「その程度」ということで厳密にそれだけに限定しているのではないのに対して、*porwé* のほうは厳密にそれに限定しているというのがへレロ語のコンサルタントの説明であったが、スワヒリ語の *tu* と *pekee* に対するスワヒリ語のコンサルタントからの説明もこれと同様であった。このことを考えると、へレロ語の *úrirí* とスワヒリ語の *tu*、へレロ語の *porwé* とスワヒリ語の *pekee* は、それぞれ対応しているようにも思われる。しかしながら、少なくとも *porwé* と *pekee* がとりたてることのできる要素に関して、特に対応しているようには見られない。むしろ例文を見てみると、*pekee* は占有領域はなく、かなり補助的に用いられているような印象を受ける。つまり、へレロ語で3つのとりたて小

辞が分担しているとりたて領域を、スワヒリ語では *tu* と *peke yake* の2つで分担しているように思われる。現時点では、データも分析も不十分であるため、いずれにしてもさらなる調査と分析・考察が必要である。

5. おわりに

本稿では、ヘレロ語とスワヒリ語におけるとりたて小辞が、それぞれの言語のなかでどのように用いられ、区別されているのか、またヘレロ語とスワヒリ語のあいだで、とりたて小辞の用いられ方にどのような違いや類似点があるのかを見てきた。最初に述べたように、本稿ではそれぞれの言語のとりたて小辞を用いた例文を概観したに過ぎず、分析の段階には至っていない。また二重目的語構文のように両言語のデータが等しく揃っていなかったり、否定文やコピュラ文など、本稿ではまったくデータを示すことができなかつたものも多々あり、データとしても不十分である。

しかしながら、漠然としたものではあるが、各とりたて小辞が担っている機能のイメージをわずかながらでも示すことができたのではないかと思う。また、これからさらに調査が必要な点や検討すべき点などが明らかになってきた。本稿はあくまでも「試論」であるが、今後はこれを土台にして、各とりたて小辞の機能および各言語における限定のとりたて表現の意味体系を明らかにしていくとともに、他のバントゥ諸語との比較研究に発展させていきたいと考えている。

参考文献

- 小柳智一. 2010. 「とりたて」高山善行・青木博史 編『ガイドブック日本語文法史』東京：ひつじ書房. pp93-104.
- 野田尚史 2015. 「日本語とスペイン語のとりたて表現の意味体系」『日本語文法』15(2).
- Mohamed, Mohamed A. 2011. *Comprehensive Swahili- English Dictionary*. Nairobi, Kampala, Dar es Salaam, Kigali: East African Educational Publishers Ltd.
- Nguaiko, Nduvaa Erna (ed.) 2011. *The New Othiherero Dictionary*. Bloomington: Author House.
- Viljoen, J. J. & T. K. Kamupingene. 1983. *Otjiherero*. Windhoek: MacMillan Education Namibia Publishers.